

皆さん、新年明けましておめでとうございます。こうしてまた皆さんの元気な顔を見ることができて、とてもうれしいです。今日から3学期が始まります。3学期は短い、ホントに短い。でもとても大事、ホントに大事な学期です。なぜ大事か。それは、2学期の終業式でお話したように、3年は卒業、1、2年生は進級に向けて、しっかり取り組まなければならない学期だからです。「あきらめずに」、がんばってください。

話は変わりますが、12月にプロ野球の松井選手が、引退を表明しました。その記者会見で「やり残したことはありますか？」との質問に「そのときの自分が考えて決断したことに、何一つ後悔はない。」と答えていたのが印象的でした。皆さんも自分を信じて、悔いのない様、努力を続けてください。引退と言えば、阪神の金本選手も引退しました。同じく記者会見で「一番誇りに思うことは何ですか。」との質問に、さて金本選手は何と答えたでしょうか。金本選手と言えば、1492試合連続フルイニング出場が有名です。約12年間、最初から最後まで試合に出場し続けた偉大な記録です。12年間ですから、皆さんでいえば、小学校1年生から高校3年生まで、一日も休まないだけでなく、遅刻も早退も欠課もない、皆勤を続けたということになります。でも金本選手の答えは、これではありませんでした。野球部、分かりますか。ヒントは「1002打席連続」。正解は「1002打席連続無併殺」。つまり約2年間、ずっと打席に立ちながら、一度もダブルプレーにならなかったということです。ダブルプレーは、ランナーがいるチャンス有的时候に、内野ゴロを打って、そのランナーだけでなく、自分も1塁でアウトになる場合が多いですが、それを防ぐには、例え内野ゴロを打って「しまった、失敗した。」と思ってもあきらめずに、懸命に一塁に全力疾走しなければなりません。失敗しても、「何とかチームのために、最善を尽くしてチャンスを残す。」「チームのために何とかしたい。」と思う気持ちがなければ、この記録は生まれなかったでしょう。3年生の中には、もう進路が決まっている人もいますが、まだ決まっていない仲間のために、精一杯、真剣に、授業などに取り組んでください。

今日は、ホントに寒い。この寒い中にも、グラウンド、体育館、柔道場、剣道場、テニスコートなどで、懸命に練習し、鍛えている皆さんの姿には、頭が下がります。また文科系クラブでは、1月の芸文祭や、3月のスプリングコンサートに向けて、作品制作や練習に打ち込んでいる人もいます。もちろん体だけでなく、頭も鍛えてくれていることと思います。特に2年生は、明日は実力テスト、来週の土曜日は校外模試、その次の週の金曜日は英検の全員受験ですね。しっかり鍛えて、力を発揮してください。

でも春は近づいています。終業式を行った12月21日は冬至で、一番日照時間が短い日です。冬至を過ぎると、一日一日、日が長くなります。夕方学校から帰る際、西側の正門を出るときに、「あれ、今日はなんだか、昨日より明るくなっているな。」と、感じることでしょう。私は、寒い中にも春の訪れを感じる今の季節が好きです。さてここで問題です。「冬至を過ぎ、日が少しずつ長くなって春の訪れを感じること。」を表す四字熟語は何でしょうか。答えは、明日お配りする「緑風通信10号」に載っています。しっかりと冬に鍛えて、皆さんにすばらしい春が訪れることを願って、私のあいさつを終わります。